

景気動向調査

藤枝商工会議所管内 中小企業景気動向調査結果概要

現状回復傾向も来期の見通しに不安感が広がる

調査時期：平成24年7月～9月
 調査対象企業数：200社
 回収数・率：175社 85%

今回の調査では、企業の景況感を示す業況判断指数(DI値)は全産業で▲19.5と4期連続マイナス幅が縮小し回復傾向にある。業種別に見ると製造業は2期連続プラスとなった。建設業・サービス業においてもマイナス幅が縮小し回復傾向にある。

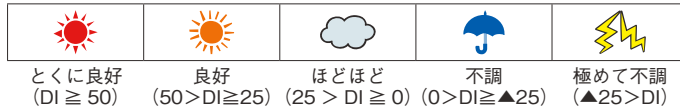
一方、来期の業況の見通しについては、サービス業を除いた全ての業種でマイナス幅が10ポイント以上拡大するという結果となった。特に、建設業・卸売業・小売業は景況・売上・経常利益共にマイナス幅が拡大するなど見通しに不安を抱く結果となった。

設備投資状況は、前期の34事業所から今期は40事業所が導入しやや増加した。業種別では前期同様に製造業が最も多い。設備導入の内訳はOA機器の導入が14件と最も多い。今後の設備の導入計画は30事業所に留まっている。

経営上の問題点

- 建設業：①請負単価の低下 ②官公需要の停滞
- 製造業：①需要の停滞 ②製品ニーズの変化への対応
- 卸売業：①需要の停滞 ②販売単価の低下
- 小売業：①需要の停滞 ②消費者ニーズの変化への対応
- サービス業：①利用者ニーズへの変化の対応 ②需要の停滞

景況天気図 (平成24年7～9月期)



	前期 24.4～6月	今期 24.7～9月	来期見通し 24.10～12月	前期 24.4～6月	今期 24.7～9月	来期見通し 24.10～12月	前期 24.4～6月	今期 24.7～9月	来期見通し 24.10～12月
建設業			製造業			卸売業			
業況	▲26.5	▲12.1	▲25.0	3.3	6.1	▲21.9	▲12.9	▲25.8	▲25.0
売上	▲18.2	▲9.4	▲20.7	▲3.1	▲5.7	▲8.6	▲16.1	▲20.0	▲25.8
経常利益	▲27.3	▲15.6	▲24.1	▲16.1	▲21.9	▲19.4	▲16.7	▲24.1	▲33.3
小売業			サービス業			全産業			
業況	▲12.1	▲31.7	▲40.0	▲33.3	▲30.6	▲23.5	▲21.2	▲19.5	▲27.8
売上	▲9.4	▲44.2	▲34.9	▲27.0	▲14.3	▲26.5	▲19.8	▲17.7	▲23.8
経常利益	▲42.4	▲44.2	▲46.5	▲35.1	▲25.0	▲31.4	▲28.0	▲27.3	▲32.1

